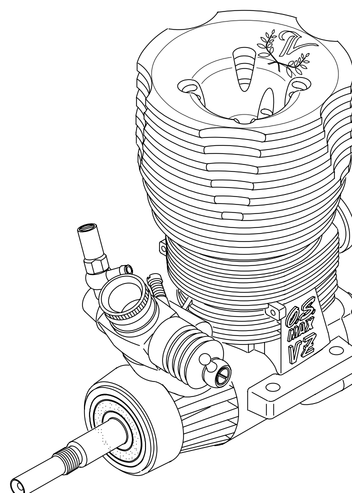
O.S.ENGINE　**MAX-21VZ-B V-Spec**

取扱説明書



このたびはOSエンジンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- **この取扱説明書と「保証書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。**
- **また必要なときに、参照できるように取扱説明書は大切に保管してください。**
- **使用する模型や無線操縦装置等の説明書も、あわせてお読みください。**

目　次

安全上のご注意

＊ ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

＊ この安全上の注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。
常に安全を心がけエンジンの馬力を軽視しないこと。エンジンを安全に使用するのはあなた自身の責任です。いつも注意深く分別ある行動をして楽しく使用してください。

■ この注意事項は誤った取扱いをした時に、生じる危害や損害の程度を「警告」「注意」に区分しています。

 警　告	 注　意
この表示の欄は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この表示の欄は、人が中程度または軽傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容です。

 警　告

・燃料は有毒ですので目や口に入れないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。健康を害する恐れがあります。



・燃料は火気厳禁です。火災の恐れがあります。



・換気の悪い場所（密閉したガレージや室内等）で運転しないでください。有害な一酸化炭素等を排出しますので必ず戸外で運転してください。健康を害する恐れがあります。

・運転中、運転直後のエンジン本体やサイレンサー、マニホールドに触れないでください。やけどの恐れがあります。



⚠注　意

・このエンジンは車用です。模型用以外に、使用しないでください。ケガや故障の原因となります。

・エンジンは模型に搭載してから始動してください。搭載前に始動するとケガの恐れがあります。

・必ず消音効果の高いサイレンサーを使用してください。耳に損傷を受ける恐れがあります。

・エンジンを使用するときは、子供や周囲の人々は安全のために、模型から６メートル以上離してください。エンジン始動後は模型には、近付けないでください。ケガをする恐れがあります。

・模型にエンジンを取り付けるときは、模型の説明書の指示に従って、確実に取り付けてください。エンジンがはずれてけがをする恐れがあります。

・プラグを通電しての点検時は手で持たずに、工具等ではさんで行ってください。また顔を近付けないでください。コイル内の燃料が沸騰してやけどをする恐れがあります。

⚠注　意

・エンジンを始動するときは、安全メガネや手袋を着用し、必ずスターターを使用してください。ケガをする恐れがあります。

・走行前にスロットル・リンケージをチェックしてください。はずれるとケガをする恐れがあります。

・グロープラグクリップやそのコードが、回転部分にからまないようにしてください。
巻き込んでケガをする恐れがあります。

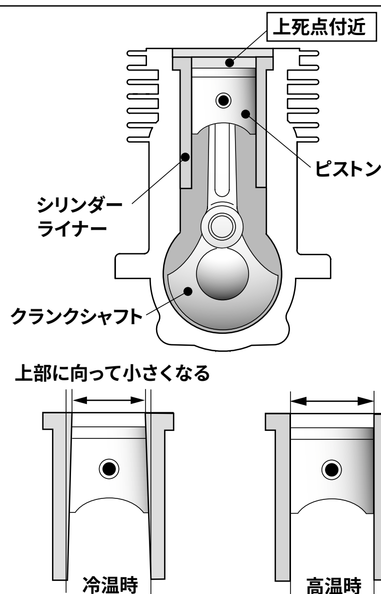
・エンジンを運転中、車体を持ち上げてタイヤを空転させないでください。
ケガや故障の原因となります。

・エンジンを停止させるときは、エンジン回転を最低速にし、燃料パイプをつまんで、燃料供給を止めてください。その際、回転部分には触れないでください。ケガをする恐れがあります。

・エンジン停止後、プラグヒートをしなくてもクランクすると、始動することがあります。ケガや故障の原因となります。

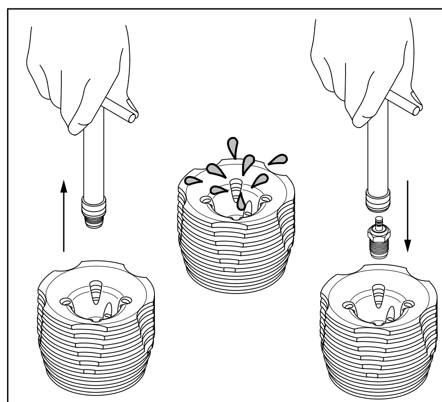
エンジンの構造について

このエンジンは『OSリングレス方式』のシリンダーピストンを採用しています。クランクシャフトを手で回したときに、上死点（ピストンが一番上に上がった所）付近でかたくなりますが異常や故障ではありません。そのままご使用ください。シリンダーの内径は、上部に向かってわずかに小さくなるように作られています。エンジンを運転していない（冷温時）ときに、ピストンが上死点付近でかたいのは、このためです。これは運転中（高温時）の熱膨張により、ピストンとシリンダーのすきまが最適になり、安定して運転できるように設計されています。



電動スターターを使用する時の注意

オーバーチョーク（シリンダー内に余分な燃料が入り過ぎた状態）のままで電動スターターを使用すると、シリンダー内の燃料が圧縮できなくなり、ピストンがシリンダー内で動かなくなります。
同時にコンロッドが変形したり、他のエンジン内部のパーツを破損してしまいます。オーバーチョークの場合は、プラグレンチでプラグを取り外した後、スターターを使用し余分な燃料を排出してください。この時、燃料が飛び出すので目に入らないよう、ウエスなどで押さえてください。プラグ穴から燃料が出なくなったら、プラグを取り付けてエンジンを始動してください。



注　意

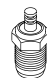
キャブレタースロットルは仮止めしてあります。ご使用のキットにより、キャブレタースロットルの向きを変えて取り付けてください。

エンジンについて

このエンジンは1/8オフロードレーシング競技専用エンジンです。
新開発のTプラグP3の採用により、パワーや燃費、耐久性が向上しました。
また21Cキャブレターには口径9mmのレデューサーを標準装備（口径8mmは標準付属）し、コースの状況に合わせ、幅広い調整が可能になりました。
まさにレーシングエンジンとしての資質を持ち、OSならではの扱い易さ、ハイパフォーマンスを実現したエンジンです。

付属品

- **Tプラグ P3（ターボヘッド仕様）　1個（ホットタイプ）**



- **ヘッドガスケット（0.1mm）　1枚**



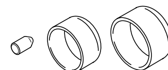
- **エキゾーストシールリング　1個**



- **レデューサー（赤）∅8（Oリング付）　1個**



- **ダストキャップ　∅3、∅16、∅18　各1個**



始動前に必要なもの

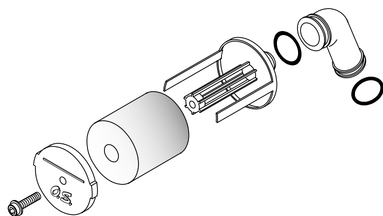
このエンジンを始動するために、次のようなオプション（別売）や用具類が必要です。エンジンを購入された販売店等に相談して購入してください。

■ **オプション（別売）** 34、35ページ参考

グロープラグ（Tプラグ）
グロープラグは消耗品です。予備のプラグにはTプラグ P3及びP6が適合します。



スーパーエアクリーナー203　一式
21クラスバギー用で湿式タイプのエアクリーナーです。



M2000
エキゾーストマニホールド　一式
T-2060チューンドサイレンサー用です。

T-2060
チューンドサイレンサー　一式
ジョイントチューブタイプ

M2000SC
エキゾーストマニホールド　一式
T-2060SCチューンドサイレンサー用です。

T-2060SC
チューンドサイレンサー　一式
スプリングコネクトタイプ

T-2060SCコンプリートセット
T-2060SCチューンドサイレンサー一式とM2000SCエキゾーストマニホールド 一式がセットになっています。

■ 工具類

次のような工具があると便利です。

六角ドライバー

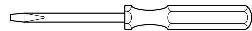
エンジン搭載などに必要です。
対辺が1.5mm、2mm、2.5mm、3mm。



マイナスドライバー

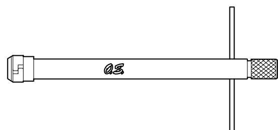
キャブレターの調整に必要です。1番、2番など。





OSロングプラグレンチ（プラグキャッチ機構付）

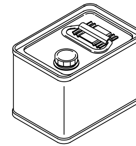
スプリングによりプラグがレンチに固定できるので、取付位置が深い場合の脱着に便利です。（別売）



■ 始動に必要なもの

燃　料

一般に市販されている良質の模型エンジン用燃料をご使用ください。一般にエンジンの出力は、使用する燃料に含まれるニトロメタンの量が多くなるにつれて増加します。ニトロメタンの量や、燃料の種類を変えた場合は、キャブレターの再調整を行ってください。なおニトロメタンの含有量を増やせばパワーはアップしますが、グロープラグの消耗が早いことと、エンジンの寿命が短くなる点にご留意ください。

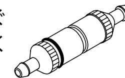


⚠ 燃料は有毒ですので目や口に入れないでください。幼児や子供の手の届かない冷暗所で保管してください。健康を害する恐れがあります。

⚠ 燃料は火気厳禁です。火災の恐れがあります。

燃料フィルター

燃料タンクからキャブレターへつなぐチューブに取付けてゴミ等を取り除くフィルター

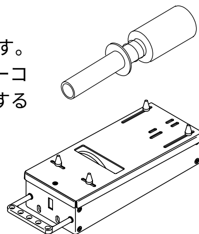


プラグブースター

プラグヒートの時に使用します。始動用バッテリーとブースターコードが一体になった物。使用する前に満充電しておきます。

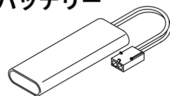
スターターボックス

エンジン始動時に使用します。



スターターボックス用7.2Vバッテリー

スターターボックス用の電源です。スターターボックスに合わせて選びます。使用する前に満充電しておきます。



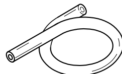
燃料ポンプ

燃料缶から燃料タンクへ燃料を移す時に必要です。

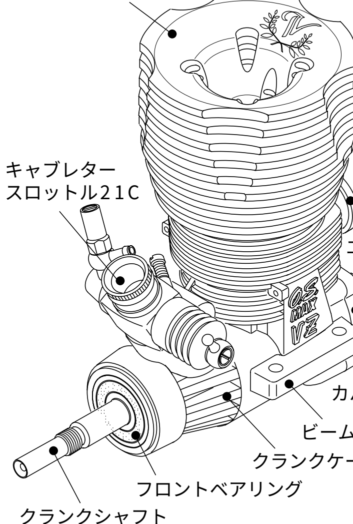


シリコンチューブ

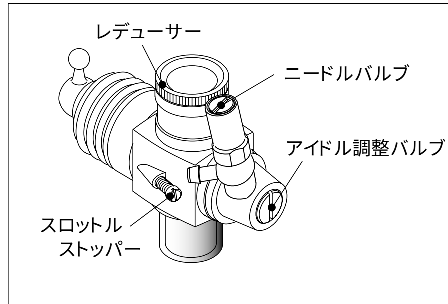
燃料の配管に使用するもので、内径2mm、外径5～5.5mm位のものが良いでしょう。

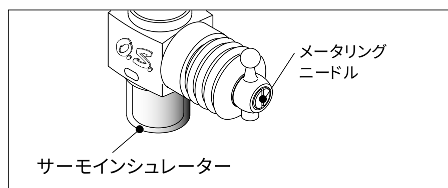


各部の名称



キャブレタースロットル21C 各部の名称





このキャブレターには次の4つの調整部分があります。

- **ニードルバルブ**
  最高回転（スロットル全開時）における空気と燃料の比率（混合気）を調整します。
- **アイドル調整バルブ**
  中速や加速の感覚を変えたい時に調整します。（動かす場合は±1回転以内にしてください。）
- **メータリングニードル**
  安定したアイドリングとスムーズな中速への加速が、得られるようアイドリング時の混合気を調整します。
- **スロットルストッパー**
  アイドリングの回転数を調整します。

このキャブレターのアイドル調整バルブ、メータリングニードルは弊社で基準の位置に調整してあります。しかしながら使用される燃料や気象条件や用途等により、若干の再調整が必要な場合があります。そのままの状態で運転されてみてよい結果が得られない場合は、調整の項に従って調整してください。

グロープラグについて

グロープラグは使用される燃料や気象などにより、エンジンに作用する性質が変化します。もし、グロープラグのフィラメントが断線したり、傷んだ場合はOS　P3又はP6を使用してください。

グロープラグの役目

グローエンジン始動時は通電しフィラメントを赤熱させ点火させます。始動後は通電を止めても前サイクルの燃焼熱によりプラグのフィラメントが赤熱され回転が持続します。高回転時にはフィラメントが高温となり早いタイミングで点火し、低回転時では遅いタイミングで点火を行います。

グロープラグを長持ちさせるコツ

グロープラグは消耗品と考えてください。使い方次第でプラグの寿命は大きく変わります。ここでプラグを長持ちさせるコツをいくつかご紹介しましょう。

- グロープラグを中速以上の回転域では、プラグヒートの電源を切ること。
- あまりニードルを絞りすぎない。
- エンジンにマッチしたプラグを使用する。
- なるべく低ニトロ燃料を使用する。

グロープラグの交換の目安

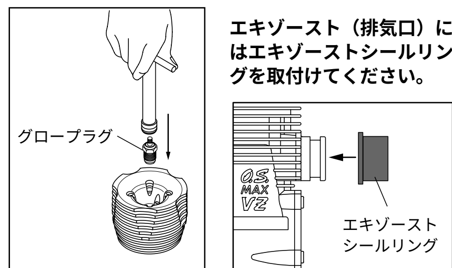
エンジンの性能を100％維持するには、いつもプラグをベストコンディションに保つ必要があります。こういう場合は早めにプラグを新品に交換してください。

- フィラメントの表面が荒れて白色化している場合。異物が付着している場合。
- フィラメントが変形している場合。
- フィラメントの表面が汚れている場合。
- プラグの本体が錆びている場合。
- 混合気が濃いときにエンジンが止まりやすくなった時。
- 低速回転時に止まりやすくなった時。
- 始動性が悪い時。

付属品の取付け

グロープラグをシリンダーヘッドに取付けてください。
（OS P3等のTプラグにはワッシャは付いていません）

エキゾースト（排気口）にはエキゾーストシールリングを取付けてください。



このエンジンには標準で0.1mmと0.2mm厚のヘッドガスケットが2枚組み込まれています。ブレークインの初期や、気温や湿度が高くプラグが切れやすい時、パワーよりも燃費を優先させる時などに調整できる様に、0.1mm厚のヘッドガスケットを付属していますので、状況に合わせてご使用下さい。

レデューサーの取付け

コースの状況に合わせて、レデューサーを取り替えてください。

∅**9（青）**
キャブレターに標準装備しています。
高速（広い）コース、路面がフラット（平ら）、パワー重視の場合。

∅**8（赤）**
エンジンに取り替え用で標準付属しています。
テクニカル（狭い）コース、路面がバンピー（でこぼこ）、燃費重視の場合。

ダストキャップセットの取付け

エンジンを保管する際に、エキゾースト、キャブレター及びニップルなどに装着し、エンジン内部へのほこりなどの侵入を防ぎます。

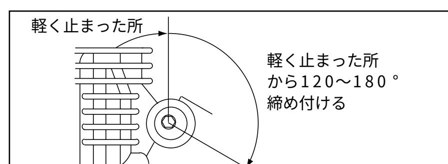
キャブレタースロットルの取付け

このキャブレタースロットルは仮止めしてあります。ご使用される前にいったんゆるめ、キャブレタースロットルが奥まで確実に入っているか確認します。

（このキャブレタースロットルは、キャブレターガスケットとクランクケースのキャブレター取付け部、奥のシールワッシャ、Oリングと三箇所でシールする構造になっています）

・次に締め付けねじをゆっくりと締めていき、軽く当たった所から120〜180゜締め付けてください。それ以上締め付けますとサーモインシュレーターが破損します。

・このキャブレターリテイナーは、両側からはさみ込む構造となっており、さらにサーモインシュレーターがゆるみ止め効果をもっていますので、120〜180゜締め付けるだけで充分です。

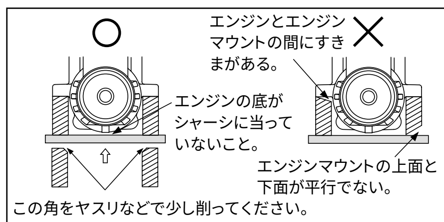


エンジンの取付け

エンジンを車に搭載する場合、次のことに注意してください。

1. エンジン本体の取付け面（ビームマウントの下面）は完全に平面になるように加工されています。
キットに付属されているエンジンマウントが平面でないと、クランクケースやシリンダーライナー、ベアリングなどを変形させ、エンジンの性能を十分発揮できないばかりでなくエンジンを破損してしまうことがあります。

2. エンジンマウントの上下面が平行になっていることを確認のうえ、3mmの六角穴付キャップスクリューでエンジンに取り付け、その後シャーシに搭載してください。

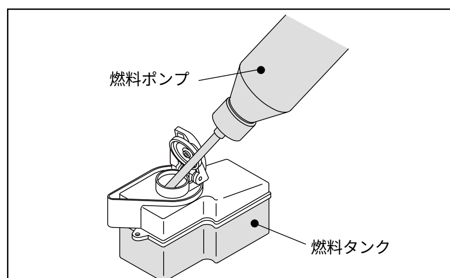


始動～ブレークイン（ならし運転）

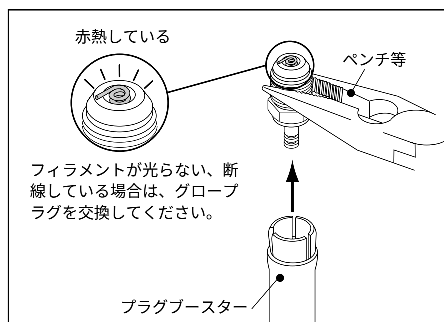
燃料の液面差を少なくし燃料を安定してキャブレターに供給するために、**必ずマフラープレッシャー（エンジンの排気圧を利用してサイレンサーから燃料タンクに圧力をかける方法）を使用してください。**

以下はこのエンジンにOSチューンドサイレンサーT-2060を付け、30%ニトロの燃料を使用した場合のブレークイン方法の目安です。

◆ 燃料タンクに燃料を入れます。

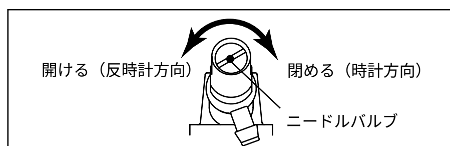


◆ プラグのフィラメントが赤熱するかプラグブースターで確認して、ヒートシンクヘッドに取り付けてください。



⚠ **プラグを通電しての点検時は手で持たずに、工具等ではさんで行ってください。また顔を近付けないでください。コイル内の燃料が沸騰してやけどをする恐れがあります。**

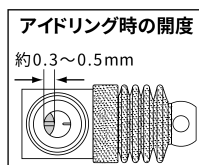
◆ ニードルバルブを時計方向にゆっくりと止まるまでまわします。この位置がニードルの全閉位置でこれ以上は無理にまわさないでください。



◆ この全閉位置から約3回、反時計方向へニードルバルブをまわします。

◆ 次に送信機のスイッチを入れて、スロットルをアイドリング（低速回転）の位置からごくわずか開きます。

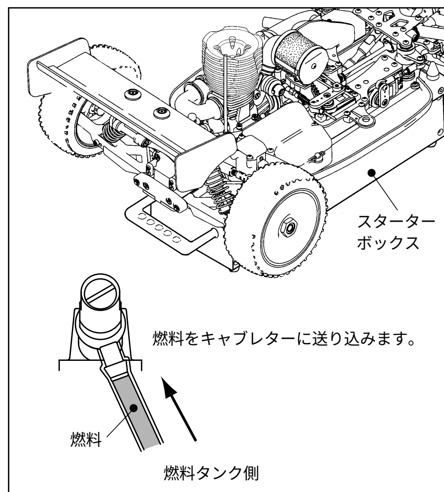
アイドリング時の開度



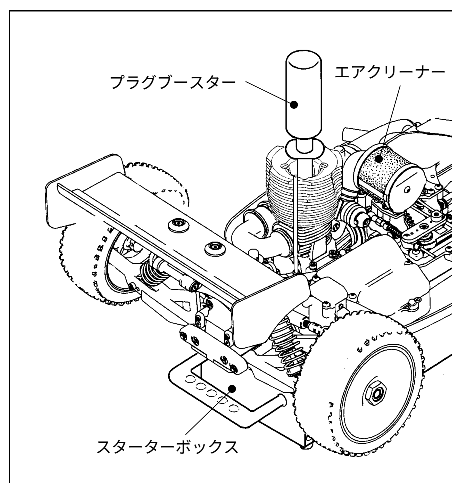
（注意）

アイドリングのスロットル開度は、エアクリーナーを取り付ける前に確認してください。

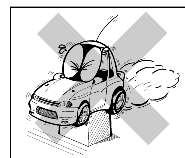
◆ エンジンの回転方向（シャフト側から見て反時計方向）を間違わないように、スターターボックスでエンジンを回して、燃料をエンジン内部へ呼び込みます。



◆グロープラグをヒート（加熱）する。プラグブースターでグロープラグに通電して、エンジンを始動してください。（必ずエアクリーナーは付けてください。）



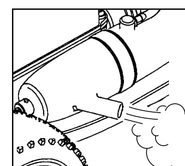
（注意）



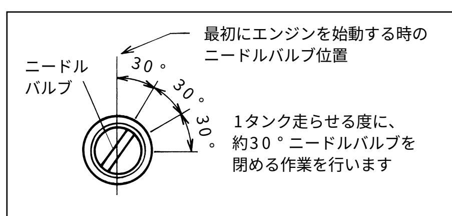
エンジンを始動する時はタイヤを地面から持ち上げていますので、エンジンはいわゆる無負荷状態にあり、スロットルが中速以下でもかなりの高速で回転します。この状態で運転を続けると、コンロッドとクランクピンが焼き付きを起こすことがあります。スロットルを開けすぎないようにしてください。

◆エンジンが始動したらタイヤを浮かせた状態でプラグヒートをしたまま、送信機のスロットルを軽く動かして、低速と中速を繰り返しエンジンを暖めます。（この時、高速状態でエンジンを回し続けないようにしてください）





◆次にプラグヒートをはずして走行します。
このとき中速付近で止まってしまうようであれば、濃い状態（吸い込む燃料が多い状態）なので、ニードルバルブを約30°ずつ閉めてください。



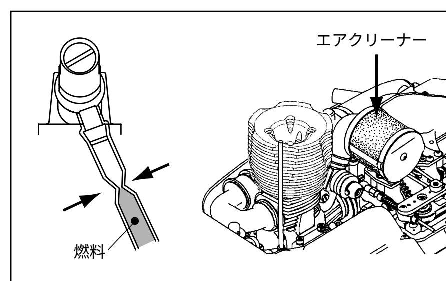
◆この状態で1タンク、その後、1タンクごとにニードルバルブを徐々に閉める作業を行いながら、約2リットルを目安に走行してください。

（注意）

燃料の種類を変えたり（特に高ニトロメタン燃料に変えた時）エンジンを修理したり、主要なパーツを交換した場合は、再度ブレークインを行ってください。

■エンジンを停止する場合

◆エンジンを停止する時は、エンジン回転を最低速にして燃料パイプをつまんで、燃料供給を止める。又は、エアクリーナーをふさいでエアーを止めます。この時、必ず軍手などをしてください。

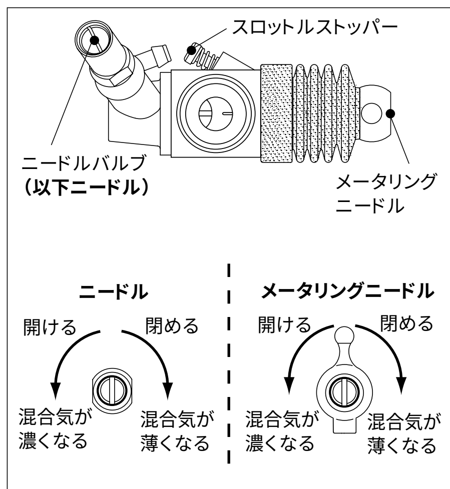


（注意）

エンジン停止直後の時は回転部分やエンジン本体、サイレンサーは高温になっています。手などで触れないでください。

キャブレターの調整

■調整はブレークインが終了してから、行ってください。



◆走行させる場所で一番長い距離のとれる直線（スロットル全開でまわれる大きなコーナーのある時はそれも含める）部分を2〜3度スロットル全開で走行させてみて直線での速度を見た上で一度、車を手元にもどします。ニードルを少し閉めて［一度に約30°］また同じように走行させてみてください。

◆ニードルを閉めるにつれて、直線での速度も次第に速くなってきます。最高の速度が得られるところがニードルの最良位置ですが、これは走行させた上での感覚で判断する以外にありません。ニードルを最良の位置から閉めすぎると、エンジンの排気ガスの色がほとんど見えなかったり、車の速度が途中からにぶったりしますので、そのような走行状態になれば閉めすぎですから、ニードルを約45〜90°開けてください。

◆ **次にアイドリング（低速回転）の調整を行います。**車を約5秒間アイドリング運転で停車させて、スロットルを全開にしてみます。この時排気口から白煙を多くだしながら濁った音を出して回転がもたついて上昇するようでしたら、燃料が多すぎる状態ですからメータリングニードルを時計方向（右）に45〜90°閉めてください。（メータリングニードルは一度に45〜90°ずつ行ってください）
もし、スロットルを全開にしたとき止まってしまったり、白煙がほとんどでないで力のない音を出しながら少し遅れて回転が上昇するようでしたら、燃料がすくなすぎる状態ですからメータリングニードルを左に45〜90°開けます。
上記、調整中メータリングニードルを動かしすぎた場合は、メータリングニードルの基準位置の項を参照に調整してください。

◆ スロットルの操作（低速から高速運転）に対してエンジンの回転がスムーズに反応するようになるまで根気よく実際に走行させて調整を行ってください。

◆ ニードル・メータリングニードル調整とも、調整が徐々に合ってくるに従って閉めていく角度を小さくしていくのが上手なコツです。

（注意）

空ぶかしでの調整はいくら行っても、実際に走行させる時のキャブレター調整とは大きな違いがあり無意味です。またエンジンの破損にもつながりますので、空ぶかしでの調整はしないでください。

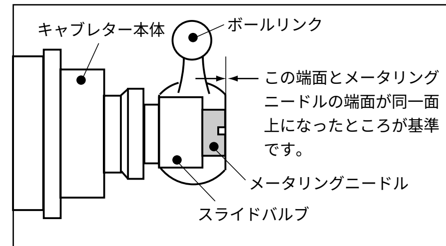
◆ 最良のキャブレター調整の位置は、排気ガスが走行中でもはっきりと見えていて加速時にはスムーズにエンジン回転が上昇する状態です。ただし、ニードルやメータリングニードルの両方閉めすぎは、エンジンがオーバーヒートしたり回転が不安定になりエンジンが破損（焼き付き）します。共に少し開けぎみにセッティングするのが上手な使い方です。

◆アイドル調整が合ってくると、スロー運転の回転が上がってきますので、アイドリングが高すぎるようでしたらスロットルストッパーを戻して希望する低速回転になるようにセットしてください。

◆ 引き続きエンジンの運転時間が増えるに従い、ニードルの最良位置がごくわずかですが、閉める方向に変化します。

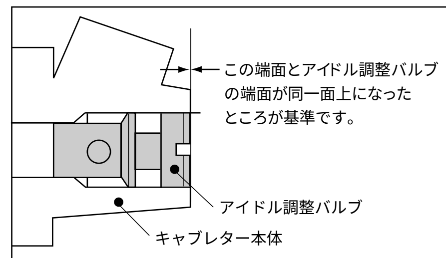
(注意)

上記のニードル開度は目安です。実際に使用される燃料、サイレンサーによりキャブレターの調整位置は変化します。傾向としてはニトロ分の少ない燃料を使用された場合は、ニードルを閉める方向になりますのでご留意ください。
ニードルの閉めすぎは、錆の発生やエンジンを破損する原因になります。



■メータリングニードル、アイドル調整バルブの基準位置

スロットル調整中メータリングニードルやアイドル調整バルブを動かすと、混合気の調整範囲外にずれてしまうことがあります。この場合、図に示す位置まで元に戻してください。



メンテナンス

走行後のメンテナンスは大変重要です。次回の走行までに次のような作業を行ってください。

■ 燃料の除去と注油

◆ 一日の走行が終わったら、燃料タンクに残った燃料は必ず抜き取ってください。

◆ その後もう一度エンジンを始動し、キャブレターや燃料パイプの中に残っている燃料がなくなるまでアイドリングで運転してください。エンジンが止まったらエンジンが暖かい内にスターターで2～3秒回し、エンジン内やサイレンサーに溜まった廃油を排出してください。

◆ さらに防錆油をエンジン内部に少量注油し、エンジン内部にゆきわたるようスターターで4～5秒回してください。

(注意)

防錆油はキャブレター内の“O”リングを傷める場合がありますので、キャブレターには防錆油を注油しないでください。

◆ これによりかなりの防錆効果が得られ、また余分なオイル分が残らず次回のエンジン始動がやりやすくなります。

■ 汚れの除去

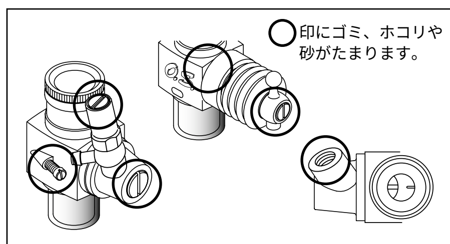
エンジン本体やサイレンサー、マニホールドなどに付着した汚れは高温となる部分が多いため、本体表面に焼き付いてしまい、放熱効果を落とす原因となります。エンジン部分の汚れが目立つようになれば、エンジンを車体からおろして、アルコール又はスプレー式クリーナーや歯ブラシなどを使用して、汚れを落としてください。

■ ダストキャップの装着

エンジンを保管する際、排気口やキャブレターなどに装着し内部へのほこりなどの侵入をふせいでください。

■ キャブレター取り扱い上の注意

使用される燃料中にごみ等が含まれていますと、キャブレタートラブルの原因になります。キャブレターと燃料タンクの間に高性能な燃料フィルターを使用し、燃料タンクにゴミが入らないように注意してください。ゴミによってキャブレターがつまり燃料がうまく流れなくなると、エンジンがオーバーヒートしたり時には焼き付きによって、エンジンを破損することがあります。定期的に燃料フィルター及びキャブレターの掃除を行ってください。またエアクリーナーも汚れがひどい場合は、新品のフィルターエレメントに交換してください。



エンジンの点検

エンジンは長時間、使用している間に摩耗などにより正常な性能を発揮しなくなることがあります。もし、次のような症状が現われたら部品交換をしてください。

◆ エンジンの音が変わり、すぐオーバーヒートする。

◆ パワーが極端になくなる。

◆ アイドリングが不安定になったり、アイドリングでエンジンがよく止まる。

上記のような症状の場合、多くはボールベアリング、シリンダーピストン、コンロッド、クランクケースの異常が考えられます。注意深く点検し必要に応じて交換してください。

保　証

最近のレースにおいては、高出力用燃料の使用により、エンジンにとって大きな負担になります。弊社としましては現在のエンジンの価格に見合う範囲で、入手出来る最高級の材料を選んでいますが非常に過酷な条件でのレースの積み重ねに十分耐えるだけの材料は残念ながら入手できません。従って材質に起因する各部品の使用中の摩耗や破損につきましては、このエンジンシリーズに限り保証しかねますのでご了承ください。

トラブルシューティング

症　状	
エンジンがかからない	
原　因	**対　処**
燃料タンクに燃料が入っていない。 キャブレターまで燃料が来ていない。	燃料タンクに燃料を入れてキャブレターまで 燃料を送る。（チョーク）
プラグが切れている。 プラグヒート用電池が減っている。	プラグを交換する。 電池を新品にする。
燃料フィルターの詰まり。 フィルターエレメント、サイレンサー内の汚れ。	燃料フィルターのそうじ及び新品と交換する。 フィルターエレメント、サイレンサー内のそうじ。
オーバーチョーク。 （エンジン内に燃料が入り過ぎ）	プラグをはずしエンジン内の燃料を出す。 プラグが赤熱するかをチェックする。
燃料チューブがはずれてる。 燃料チューブに穴が開いている。	燃料チューブを確実に差し込む。途中で折れて ないかチェックする。新品のチューブと交換。
キャブレターの調整不良。	メータリングニードル、アイドル調整バルブを 基準の位置に戻す。
サーボリンケージの調整不良。	サーボをニュートラルにして、リンケージを やり直す。
スターターボックスの回転方向が逆。	シャフト側から見て反時計方向に回転している かチェックする。

症　状	
エンジンがかかるがすぐに止まる	
原　因	**対　処**
燃料タンクに燃料が少ししかない。	燃料タンクに燃料を入れる。
プラグが劣化している。	プラグを交換する。
燃料フィルターの詰まり。 フィルターエレメント、サイレンサー内の汚れ。	燃料フィルターのそうじ及び新品と交換する。 フィルターエレメント、サイレンサー内のそうじ。
エンジンのオーバーヒート。	エンジンが冷めるのを待つ。 ニードルを開けて再始動する。
クラッチの切れが悪い。	クラッチスプリングのテンションなどを調整。
始動後、プラグヒートをすぐに切っている。	始動後はプラグヒートをすぐに切らず、回転が 安定するまでそのままにする。
燃料タンク内の燃料が異常に泡立っている。	燃料タンク取付ねじに"O"リング等を入れて、 泡立たないように燃料タンクを取り付ける。

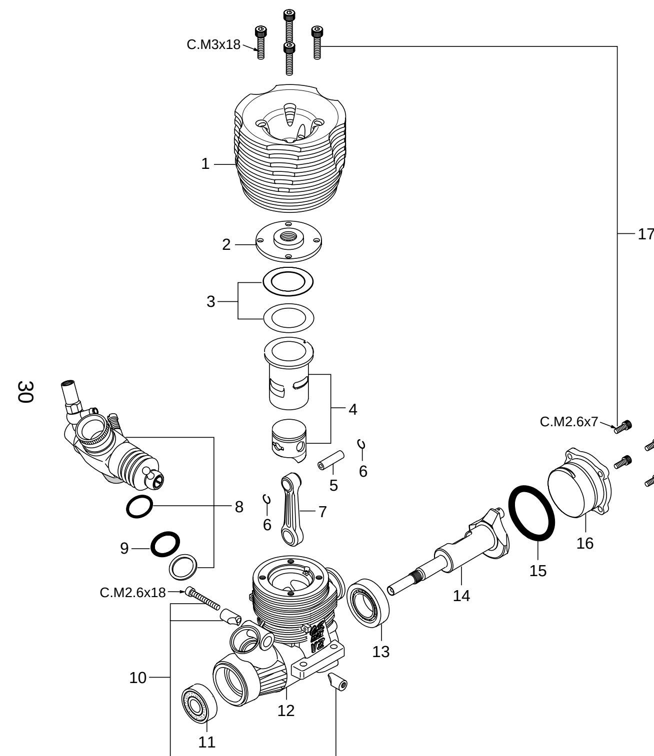
症　状	
アイドリング（低速回転）が安定しない	
原　因	対　処
適切なプラグを使用していない。	取扱説明書に記載されている推奨ナンバーのプラグを使用する。
特殊な用途のグロー燃料を使用している。	異常にニトロ含有量の高い物やオイル含有量が少ない物を使用しない。
フライホイールが異常に軽い。	適正な負荷をかける。
サイレンサーが外れてたりガタがある。	サイレンサーを確実に取り付ける。

症　状	
最高回転が思った通りにあがらない	
原　因	対　処
暖気運転やブレークインが不充分。	必ず暖気運転を行ったあとニードルをセットする。充分にブレークインを行う。
サイレンサー、マニホールドの接続が不十分、又は外れている。	シールリングの交換。マニホールドとサイレンサーの接続をチェックし確実に取り付ける。
タンクからキャブレターへの配管が亀裂、破損。	配管のシリコンチューブを新品と交換する。

症　状	
レスポンスが悪い	
原　因	対　処
プラグが劣化している。	プラグを交換する。
キャブレターの調整不良	メータリングニードル、アイドル調整バルブで低速回転域を確実に調整する。
エキスポネンシャル機能付送信機の設定ミス。	送信機のセッティング内容をチェックする。
リンケージが正確でない。	スロットルコントロールサーボがリンケージと干渉してないかチェックする。

症　状	
回転落ちが悪い	
原　因	対　処
アイドリング時のスロットルバルブ開度が開きすぎ。	メータリングニードルを適切な位置まで閉めて、アイドリングの回転数を下げる。
メータリングニードルの閉めすぎ。	メータリングニードルを少し開ける。
キャブレター取付部の不良。	キャブレターを確実に取り付ける。

エンジン分解図



＊ねじの種類

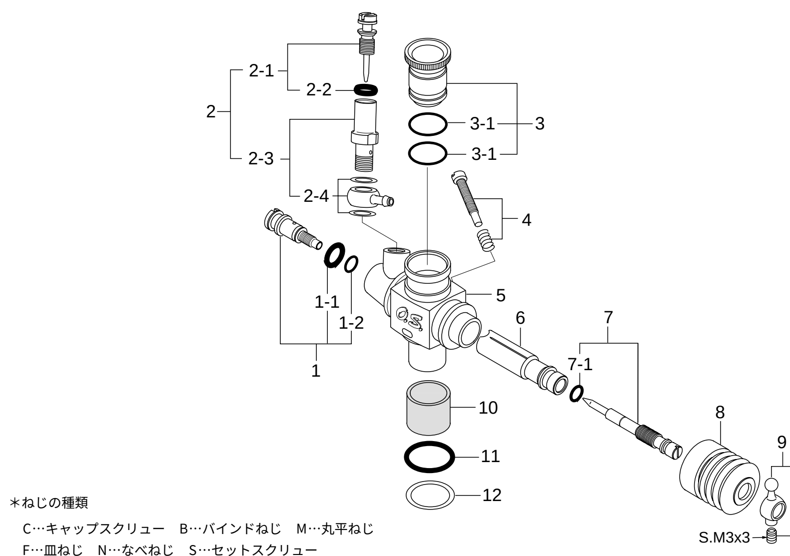
C…キャップスクリュー　B…バインドねじ　M…丸平ねじ
F…皿ねじ　N…なべねじ　S…セットスクリュー

部 品 表

No.	品名コード	品　　　名	価格（円）	税抜価格
1	22105000	アウターヘッド	5,250	5,000
2	22105100	インナーヘッド	2,940	2,800
3	23764010	ヘッドガスケット（2枚組）	315	300
4	22103010	シリンダーピストン　一式	9,450	9,000
5	23906000	ピストンピン	315	300
6	23817000	ピストンピンリテイナー（2個セット）	105	100
7	23755000	コンロッド	2,415	2,300
8	23818050	キャブレタースロットル 21C	8,925	8,500
9	23715000	キャブレターシールリング	105	100
10	23981700	キャブレターリテイナー　一式	378	360
11	23731000	クランクシャフトベアリング（前）	1,260	1,200
12	23751010	クランクケース	7,875	7,500
13	23730010	クランクシャフトベアリング（後）	3,150	3,000
14	22102000	クランクシャフト	6,825	6,500
15	23764020	カバーガスケット	158	150
16	23757000	カバープレート	1,470	1,400
17	23763010	スクリューセット	315	300
	71641300	グロープラグ T-P3	609	580
	22826140	エキゾーストシールリング	525	500
	71533000	レデューサー（赤）∅ 8（"O"リング2個付）	420	400
	22615000	"O" リング（1個）	105	100
	22884250	ダストキャップセット（∅3、∅16、∅18 各1個）	210	200

改良のため予告なく仕様・価格等変更することがあります。

キャブレタースロットル(21C)　分解図



＊ねじの種類

C…キャップスクリュー　B…バインドねじ　M…丸平ねじ
F…皿ねじ　N…なべねじ　S…セットスクリュー

部 品 表

No.	品名コード	品　　名	価格（円）	税抜価格
1	23781600	アイドル調整バルブ　一式	788	750
1-1	46066319	"O" リング（大）（2個）	147	140
1-2	22781800	"O" リング（小）（2個）	116	110
2	23618190	ニードルバルブ　一式	1,155	1,100
2-1	23618197	ニードル　一式	525	500
2-2	46066319	"O" リング（2個）	147	140
2-3	23618194	ニードルホルダー　一式	630	600
2-4	23818176	燃料インレット（No.9）	347	330
3	71533010	レデユーサー（青）∅9（"O"リング2個付）	420	400
3-1	22615000	"O" リング（1個）	105	100
4	23818500	スロットルストッパー	231	220
5	23818130	キャブレター本体（サーモインシュレーター付）	5,040	4,800
6	23781200	スライドバルブ	1,575	1,500
7	23818340	メータリングニードル　一式	735	700
7-1	27881820	"O" リング（2個）	147	140
8	22884220	ダストカバー	347	330
9	23781400	ボールリンク（No.3）	630	600
10	23781110	サーモインシュレーター	735	700
11	29015019	キャブレターガスケット	105	100
12	23818190	キャブレターシールワッシャ	105	100

製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。



OS純正オプションパーツ＆アクセサリー

■ Tプラグ

P3 (71641300)
¥609 (税抜価格　¥580)



P6 (71641600)
¥609 (税抜価格　¥580)

■ M2000SC エキゾーストマニホールド 一式

(72106440) **¥3,675** (税抜価格　¥3,500)

- **マニホールドスプリング（2個入）**
  (72101272) **¥420** (税抜価格　¥400)
- **エキゾーストシールリング（2個入）**
  (22826140) **¥525** (税抜価格　¥500)

■ T-2060SCチューンドサイレンサー 一式

(72106100) **¥8,400** (税抜価格　¥8,000)

- **チューンドサイレンサー本体**
  (72106101) **¥7,350** (税抜価格　¥7,000)
  プレッシャーニップル
  (72140130) **¥735** (税抜価格　¥700)
- **エキゾーストシールリング（2個入）**
  (22826140) **¥525** (税抜価格　¥500)
- **ジョイントスプリング（3個入）**
  (72106042) **¥525** (税抜価格　¥500)

■ M2000 エキゾーストマニホールド 一式

(72106430) **¥2,940** (税抜価格　¥2,800)

- **マニホールドスプリング（2個入）**
  (72101272) **¥420** (税抜価格　¥400)
- **エキゾーストシールリング（2個入）**
  (22826140) **¥525** (税抜価格　¥500)

■ T-2060 チューンドサイレンサー 一式

(72106080) **¥7,875** (税抜価格　¥7,500)

- **チューンドサイレンサー本体**
  (72106081) **¥7,350** (税抜価格　¥7,000)
  プレッシャーニップル
  (72140130) **¥735** (税抜価格　¥700)

■ T-2060SCコンプリートセット

(72106110) **¥11,025**
(税抜価格　¥10,500)

- **T-2060SC チューンドサイレンサー 一式**
  (72106100) **¥8,400**
  (税抜価格　¥8,000)
- **M2000SC エキゾーストマニホールド 一式**
  (72106440) **¥3,675**
  (税抜価格　¥3,500)

O.S. SPEED
RACING ENGINE PARTS

OS純正オプションパーツ＆アクセサリー

■ **T-2050チューンドサイレンサー 一式**
(72106060) **¥7,875** （税抜価格 ¥7,500）

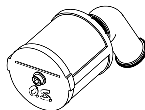
■ **T-2050エキゾーストマニホールド 一式**
(72106150) **¥3,675** （税抜価格 ¥3,500）

■ **21RZエキゾーストマニホールド**
(72101270) **¥2,940** （税抜価格 ¥2,800）

■ **スーパージョイントチューブ21**
(72106300) **¥630** （税抜価格 ¥600）

■ **スーパーエアクリーナー203 一式**
(72413000) **¥2,205** （税抜価格 ¥2,100）

・ **203スポンジフィルターエレメント** （4個入）
(72413200) **¥683**
（税抜価格 ¥650）



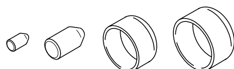
■ **エキゾーストシールリング**
(22826140) **¥525** （2個入）
（税抜価格 ¥500）



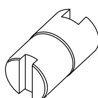
■ **キャップスクリューセット**
M2.6x7（10本入）
(79871020)
¥315 （税抜価格 ¥300）



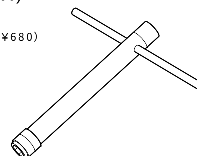
■ **ダストキャップセット**
∅3（5個入） (73300305)
¥315 （税抜価格 ¥300）
∅8（3個入） (73300812)
¥315 （税抜価格 ¥300）
∅16（3個入） (73301612)
¥368 （税抜価格 ¥350）
∅18（3個入） (73301812)
¥368 （税抜価格 ¥350）



■ **クランクシャフトクランプ**
1521 (71530200)
¥840 （税抜価格 ¥800）



■ **ロングプラグレンチ**
(71521000)
¥714
（税抜価格 ¥680）

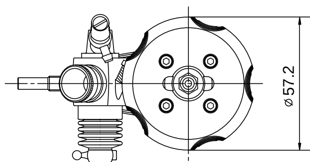


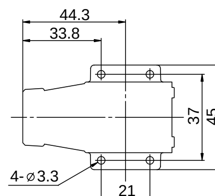
改良のため予告なく仕様･価格等変更することがあります。

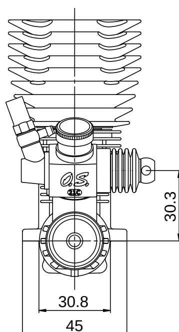
三　面　図

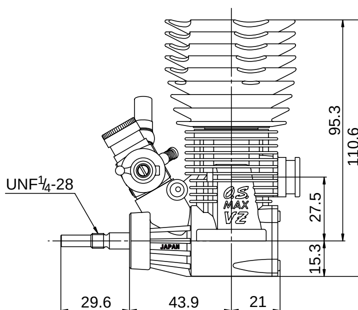
要目

■行程体積	3.46cc (0.211cu.in.)
■ボア	16.6mm (0.654in.)
■ストローク	16.0mm (0.630in.)
■実用回転数	3,000-40,000 r.p.m.
■出力	2.48ps / 33,000 r.p.m.
■重量	360g (12.7oz.)









単位mm

アフターサービス

◆エンジンの修理品について

- **よく洗浄してエンジン本体のみを「OSエンジンサービス係」までお送りください。（エンジン以外のものが付いていたり汚れがひどいと分解や洗浄に時間がかかり、修理代が高くなります）この時、故障時の状態及び修理希望事項を必ずお書き添えください。**
- 原則として弊社到着後10日以内で修理完了致します。
- 修理品のお支払いについては、コレクトサービス（宅急便代金着払いシステム）により発送させていただきますので、修理品送付時、現金等を同封しないようにお願いします。

◆お客様のパーツ直接購入について

- **交換部品については販売店、もしくは当社から直接購入することができます。直接購入される場合は、当社パーツリストの価格での販売となります。また、送料が必要となりますのでご了承ください。**

■ ご注文方法

電話、FAX、封書にてご注文ください。

必要事項

氏名、住所、電話番号、8ケタ品名コード、品名、数量。

■ 送料支払方法

1. 宅急便

A. 代金着払い　B. 銀行振込　C. 郵便振込

送料荷造手数料　740〜1,470円（税抜き）

2. 郵　送

A. 銀行振込　B. 郵便振込

送料荷造手数料　一律200円（税抜き）

ただし、ご注文合計金額が2,000円（税抜き）以上の場合は宅急便にて送付。

● 金額割引

ご注文合計金額が8,000円（税抜き）を超える場合、送料荷造手数料は300円（税抜き）となります。

注意

修理品については金額割引の対象外とさせて頂きます。

修理品、パーツ販売、エンジンに関するお問合せは、「OSエンジンサービス係」までお願い致します。

OSエンジンサービス係

電話受付時間

8：30〜18：30（土・日・祝日を除く）

電 話（06）6702-0230（直通）

FAX（06）6704-2722

＊直通電話が混み合っている場合には、しばらくたってからおかけ直しいただくか、右記の電話番号（代表）あてにご連絡ください。

情報提供サービスのご案内

インターネットを利用してタイムリーな製品情報を提供しています。

ホームページ

・新製品情報　・イベント告知
・トラブルシューティング　・カタログ請求

URL : http://www.os-engines.co.jp

・製品に関するご質問等は

E-Mail : info@os-engines.co.jp

小 川 精 機 株 式 会 社

〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目6番15号

電話　（06）6702－0225番(代)

FAX　（06）6704－2722番



小 川 精 機 株 式 会 社
〒546-0003 大阪市東住吉区今川3丁目6番15号
電話　(06) 6702－0225番(代)
FAX　(06) 6704－2722番
URL : http://www.os-engines.co.jp

60081410　030603